

件名

山梨県立八ヶ岳スケートセンターの今後のあり方と運営方針について

経緯

施設概要

名称：県立八ヶ岳スケートセンター
 所在地：北杜市小淵沢町上の原 3989-1
 規模：屋外人工スケートリンク(幅 13m×1周 400m)、管理棟、記録棟など
 営業期間：毎年 11 月 20 日から翌年 2 月第 2 日曜日まで(期間中は無休)

これまでの経緯

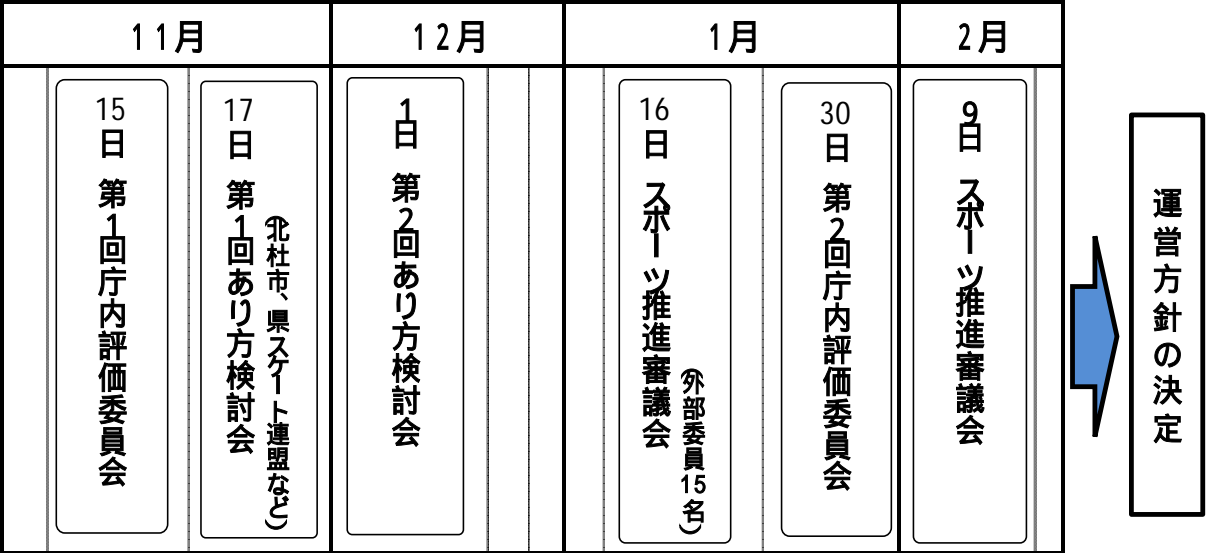
平成 23 年度の行政評価アドバイザー会議において、廃止又は運営方法の改善との評価結果が出された。
 このため、24 年度に県、北杜市、スケート連盟などで「施設のあり方検討会」を設置し、検討を行った結果、利用者数を 13,897 人(H24)から 18,080 人(H28)に増加させる条件を設定し、当面、存続することになった。
 29 年度には、当条件の達成状況を検証するとともに、30 年度以降のセンターのあり方(存廃)などを検討することとしていた。

内容

設定した条件の検証

平成 28 年度の利用者数が目標の 18,080 人を上回る 18,390 人となり、目標を達成した。

検討の状況



今後の施設のあり方

スポーツ推進審議会などからの意見を踏まえ、利用者数などの新たな目標を設定した上で、平成 34 年度まで存続する。

「施設の役割」と「運営方針」は別紙のとおり

施設の役割

当センターの設置目的や利用の特徴を踏まえ、施設が担う役割は次のとおりとする。

- (1) スケートの普及振興及びスピードスケート競技のジュニア選手育成や競技力の向上を目的とした施設
- (2) 小中学校が、スケート教室を開催する学校教育で利用する施設
- (3) 県民の健康増進や観光客のレジャー利用を目的とした施設

運営方針

公の施設運営の考え方としては、利用の最大化とコストの最小化を図ることが必要であり、これを達成するため、新たな目標を設定

年間利用者数目標： 18,080人(H28) 21,735人(H34)
 年間利用料収入目標： 約690万円(H27~28) 約950万円(H34)
次期指定管理期間中の、H32年度に利用状況を検証する。

コストを抑えた効率的な管理運営を行うため、指定管理制度による管理運営を継続

指定管理料目標： 約5,100万円(H27~28) 約4,600万円(H34)

今後の利用者数目標について

